

新型コロナウイルス感染症による影響調査（集計結果）59

平素は組合活動にご理解とご協力賜り誠にありがとうございます。  
去年の5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、今年は5年ぶりの制限のないゴールデンウィークを迎えます。  
本調査は、コロナ禍前後の比較をするに大変貴重なデータとなるため担当者様には大変ご面倒をおかけいたしておりますがどうぞ引き続き、よろしくお願いいたします。  
集計データについては、数字のみ活用し施設名は外部に公表いたしません。  
また、ホテル組合ホームページに毎月の調査集計結果を掲載しておりますのでご覧ください。

令和6年4月 沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合

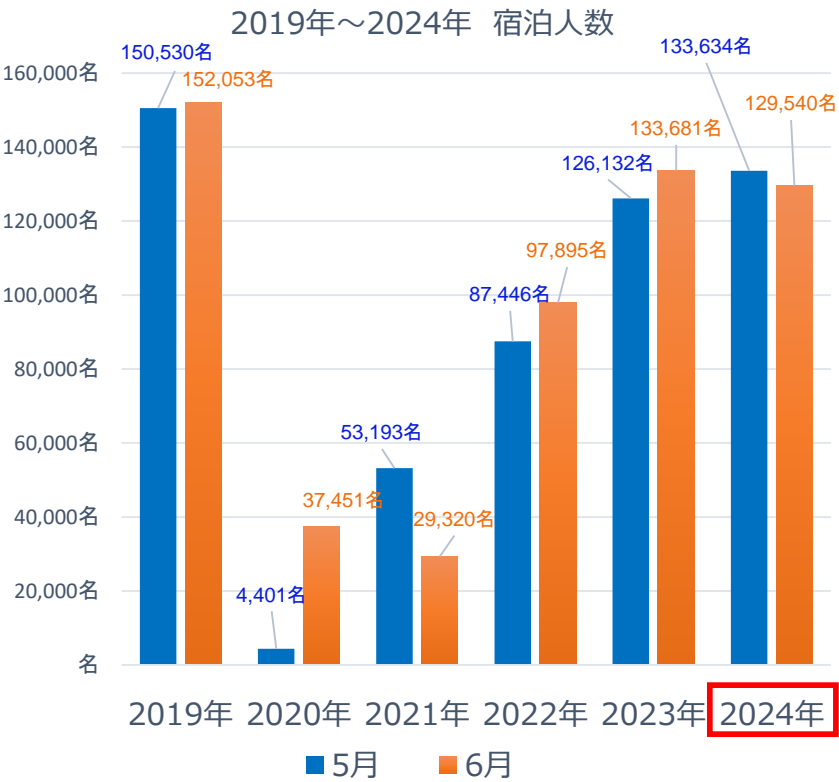
調査対象：301軒    うち回答：19軒（回答率 6.3%）

1.5月～6月の状況について（過去5年との状況比較）

① 宿泊人数について

2019年5月	2019年6月
150,530 名	152,053 名
2020年5月	2020年6月
4,401 名	37,451 名
2021年5月	2021年6月
53,193 名	29,320 名
2022年5月	2022年6月
87,446 名	97,895 名
2023年5月	2023年6月
126,132 名	133,681 名
2024年5月	2024年6月
133,634 名	129,540 名

4月	5月
2019年対比	2019年対比
▲11.2%	▲14.8%
2020年対比	2020年対比
2936.4%	245.9%
2021年対比	2021年対比
151.2%	341.8%
2022年対比	2022年対比
52.8%	32.3%
2023年対比	2023年対比
5.9%	▲3.1%

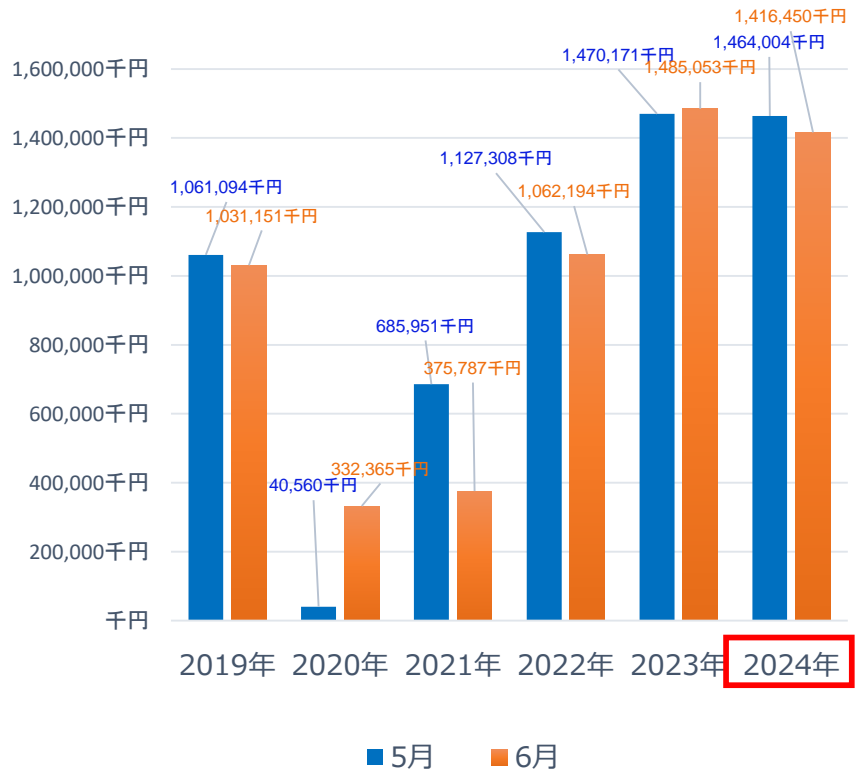


## ② 売上額について

2019年4月	2019年5月
1,061,094千円	1,031,151千円
2020年4月	2020年5月
40,560千円	332,365千円
2021年4月	2021年5月
685,951千円	375,787千円
2022年4月	2022年5月
1,127,308千円	1,062,194千円
2023年4月	2023年5月
1,470,171千円	1,485,053千円
2024年4月	2024年5月
1,464,004千円	1,416,450千円

4月	5月
2019年対比	2019年対比
38.0%	37.4%
2020年対比	2020年対比
3509.5%	326.2%
2021年対比	2021年対比
113.4%	276.9%
2022年対比	2022年対比
29.9%	33.4%
2023年対比	2023年対比
▲0.4%	▲4.6%

2019年～2024年 売上額

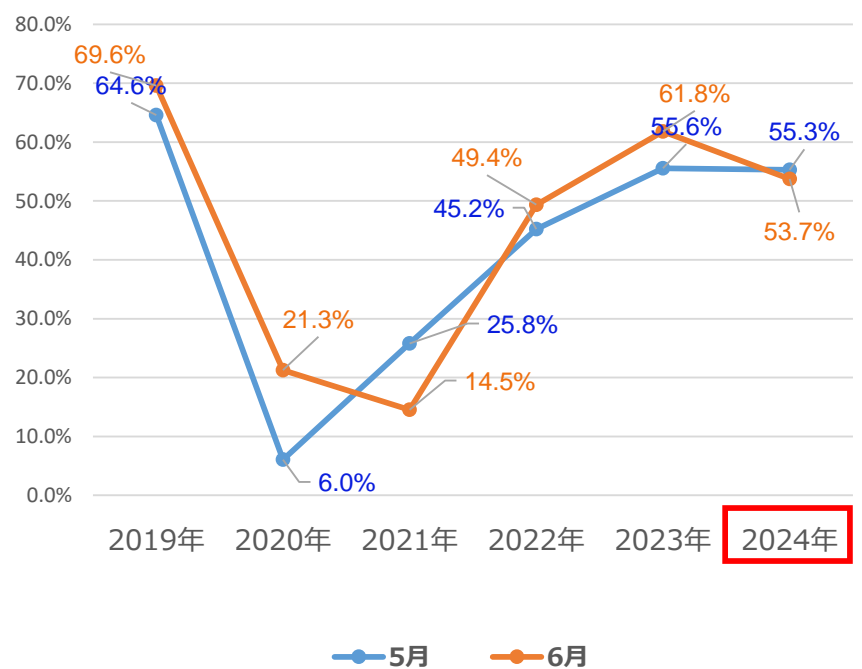


## ③ 平均稼働率について

2019年5月	2019年6月
64.6%	69.6%
2020年5月	2020年6月
6.0%	21.3%
2021年5月	2021年6月
25.8%	14.5%
2022年5月	2022年6月
45.2%	49.4%
2023年5月	2023年6月
55.6%	61.8%
2024年5月	2024年6月
55.3%	53.7%

5月	6月
2019年対比	2019年対比
▲14.4%	▲22.8%
2020年対比	2020年対比
814.9%	152.8%
2021年対比	2021年対比
114.4%	270.4%
2022年対比	2022年対比
22.2%	8.9%
2023年対比	2023年対比
▲0.5%	▲13.0%

2019年～2024年 稼働率



## 2. 現況など自由コメント、お聞かせください。

### 【取組み内容】

- ・ 厳しい状況である、コロナ前の入域客1000万人には届かない850万人ホテル数は120%~130%と増え少ないお客様をとりあっている。
- ・ 今年度はネット関連の予約取り込みに苦慮している。
- ・ GW明け~6月末の間屋内プール工事による集客への影響はあるが依然、2019年稼働にはほど遠い状況
- ・ 5月6月業績よろしくないです
- ・ リネン会社から契約を解除され苦慮しています。

## 3. 昨年のGWと比較して変化がありましたらお聞かせください。

- ・ GW期間計では昨年より稼働は20%増加。
- ・ 昨年はコロナが2類から5類への移行があり、それまで旅行できなかった人々が動いたのか旅行者は多かった。今年は動きが悪い物価上昇の要因もあるが、ホテルの数が増えて限られたお客を取り合っている。外国人客も以前のように戻っていないので厳しい状況が続く。
- ・ GWは全くと言っていいほど動きが悪かった
- ・ 前年と比べ個人の国内は減少、海外は増加傾向であった。前年が海外が相当低かったこともあって増となった。
- ・ GW前半は前年を上回るも、後半は前年比7割になり分散化が見られた。
- ・ 募集団体を中心に稼働とADRを上げ、春休みとGWの取り込みでOTAの需要が好調に伸びた。
- ・ 全般的に低調でした。
- ・ インバウンドは増えましたがGWの業績は昨年負けしています
- ・ ほとんど変化なし。

## 4.外国人材を採用するにあたり、苦慮していることがあればご記入ください。

- ・ 在留資格申請・更新時の手続き負担
- ・ 期間が限定される事（学校へ通っている間）で長期的な採用が望ましい
- ・ 言語の問題と生活習慣及び生活態度、サービスの質の課題がある場合が多々ある。
- ・ 寮の用意、採用費用
- ・ 寮を用意する必要がある、リブインで対応している。文化の違いにより、自我が強い面があり、融通が利かないことがある。繁忙期に長期の休暇を希望するなど。（1か月間要求する）
- ・ 外国人材採用は予定していません。